

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

事業所名: グループホーム 雀のお宿

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	その人らしく安心安全に過ごし、尊厳を大切にするという理念を立ててあります。	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員室、談話室、廊下に理念を掲示しており、又職員会議の書類にも毎月載せて、職員にも共有してもらっている。	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	運営推進会議の報告や、地域の方達も交えた行事を、家族会や面会時、雀通信などを通して伝えている。	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近所のお店での買い物、掃除、常会への出席などを通して、近隣の方にホームを知ってもらい、気軽に立ち寄っていただけるよう声を掛けている。	○ 野菜や花をいただいたり、筈を届けたりして一般家庭と同様の付き合いをしている。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	常会、清掃作業、運動会、文化祭などに参加し、交流出来るように努めている。	○ 小学校の運動会の招待を受け参加させていただいたり、保育園児に訪問していただいたりしている。また収穫祭には多くの近隣の方の参加をお願いしていきたい。

事業所名：グループホーム 雀のお宿

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	認知症のホームとして、在宅介護支援センターの要請により、地域の方に介護予防の為の講座に協力した。	○	地域高齢者の交流・情報発信の役割を果たしていきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	過去の評価での反省は出来るだけ改善した。自己評価する事により気付く事が多いので改善に向けている。	○	外部評価を受けることで、いただいた意見を質の向上の為に積極的に取り組んでいきたい。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	推進会議での意見は取り入れて改善した事もある。又情報や提案をいただいて実行出来た事もある。	○	民生委員や老人クラブの方の参加があり、地区の情報もいただいている。できるだけ地区の行事に参加したい。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議以外は、書類の提出などで市町村へ行く事位しかないが、先日は同市のGHが集まる機会を作って下さり、情報交換が出来た。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	成年後見制度を利用している利用者も居る。職員にも、職員会議などで話を出し、資料を見ていただくようにしている。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止関連法の資料により勉強している。身体的虐待は0だが、言葉による虐待をしないよう職員にも伝えている。	○	職員の心身の健康が保てるよう配慮していきたい。

事業所名：グループホーム 雀のお宿

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約を結ぶ時は、ご本人や御家族に面談する事になっている。不安や疑問なども伺い、ホームの様子なども見学していただき、説明している。		
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	本人が苦情を言えるような環境作りを努めると共に、苦情箱も設置している。		
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	金銭出納帳はコピーし、毎月送っている。健康状態は、体調を崩した時はその都度報告している。職員の異動はその都度や新聞などで報告している。		
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	介護計画作成時や、面会に見えた時など気軽に話していただけるような雰囲気作りをしている。苦情は御意見箱を設け、苦情が届けられるようにし、苦情対応する職員体制を設けている。		
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の職員会議で意見や提案を話し合える場を作っている。又日々の生活の中で感じた事なども、その都度話していただいている。	○	チームケアの大切さを伝え、職員一人一人の意見を尊重し、調整していきたい。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者の状況や運営に必要な体制は、調整するようにしている。	○	利用者の体調不良時等手薄になる朝方に5:00~7:00の勤務者を確保した。また必要があれば検討していきたい。
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の働き易い勤務体制や環境作りをする事に依って、健康状態や精神的安定を図り、離職は最小限にしたい。		

事業所名：グループホーム 雀のお宿

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	実践者研修、ケアマネ研修、その他の研修など積極的に参加出来るようにしている。	○	実践者研修には、必ず一人ずつ参加するように計画している。研修情報を伝え参加を促したい。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域、地域外とのグループホームと交流会をしている。利用者同士の交流はもとより職員の苦情や悩みなども話し合ったりしている。	○	市へGH会議の継続をお願いし、交流を深めたい。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	休憩の場を設けたり、月3回の希望休も取り入れるよう勤務体制をしている。		
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	研修してきた職員より伝達研修を受けたり、外部での研修などで職員の向上心を持っていただけるようにしている。		
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	御本人や御家族に気軽に訪問していただいたり、訪問させていただいたりしている。お茶を飲みながら話をしたり、中の様子や雰囲気を見ていただいている。		
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	何でも気軽に話していただけるような雰囲気作りをする努力をしている。		

事業所名：グループホーム 雀のお宿

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	御本人や御家族の希望に添えない事もある。悩みや希望を伺う中で、その方に必要な支援を見極め他のサービスを紹介するようにしている。	○	御本人や御家族が利用を迷っているケースは、いろいろな方法があることを伝え在宅をすすめることもある。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	その御家庭の許す限り、ホームにも足を運んでいただき、ホームの雰囲気、環境、他の入居者や職員とも馴染みの関係が出来るようにしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、面倒を見てあげているんだという上からの目線でなく、共に過ごす年長者と言う気持ちで生活するようにしている。長年の生活暦で教えていただく事も多くあり、助けていただく事も多くある。	○	「ありがとう」を職員が言う立場でありたい。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	介護していて、嬉しかった事、困った事など気軽に御家族にもお話している。一緒に喜んだり、協力して下さったりしている。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族間の内部の事までタッチする事は出来ないが、そういう事態があったら、より良い関係を築いていけるよう努力したい。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの方の訪問や外出などは、どんどんしていただきたいと思っている。	○	本人の自宅近隣の方々の来所を家族が気遣うことがあり、もう少し生活歴のなかの人や場所を大切にしていけたらと思う。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	その方、その方の個性や好き嫌いもあり、その方の好きな事を援助すると、他の人から苦情が出たりする。個人と集団との援助のむずかしさを感じている。	○	集団生活の中でなかなか利用者と馴染めない方には、職員の声かけ等を多く行い、他者との関わりをもてるよう支援したい。

事業所名：グループホーム 雀のお宿

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	ホームとしては、利用している時も、利用を終了しても変わる事なく係りは大切にしていきたいと思っています。いつも開かれたホームでありたいです。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の生活スタイルや、その時々のお思いを受けとめ、食事時間、入浴時間、就寝時間など本人の意向に出来るだけ添うようにしている。	○	生活歴や身体状況に応じた対応を心がけていきたい。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時のアセスメント、又毎日の生活の中での発見など、引き継ぎなどで共有するようにしている。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	申し送りノート、業務日誌、健康チェック表に記録し、引き継ぎ時に情報を伝達するようにしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人、御家族に面会時などに要望を聞き、又月一回ご家族に計画書を郵送している。毎月行うケースカンファレンスや、日々の情報伝達などを通し、介護計画を立てている。		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の期間は見直しをしている。本人の健康状態により、必要な時はその都度計画を立て直している。	○	心身の変化に対応する介護計画の見直し期間に関係なく行っていきたい。

事業所名：グループホーム 雀のお宿

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録を毎日記録し、職員全員で確認共有している。	○	情報を共有し、職員の気づきや工夫を大切にしながらチームケアの実践を計っていききたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	多機能型ではないが、敷地内のDSへ訪問したり、ホームでの行事にDSが参加したりと、交流を通じた支援をしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	年2回の消防訓練、地域への行事の参加、又ボランティアの方々や民生委員などのご協力を得ながら、外部との融合を図っている。	○	地域に情報を集め、地域に根付いた支援をしていきたい。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	介護保険でのサービスは受けられないが、必要に応じて後見人制度を利用し支援している。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議のメンバーとして入っていただいて、情報などをいただいている。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医の他に、その症状に応じた医療機関を受診している。		

事業所名：グループホーム 雀のお宿

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	必要に応じ、御家族とも相談しながら支援している。		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	敷地内のDSセンターに依頼し、利用者の健康状態が悪化した時、支援してもらえる体制を取っている。		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院の際、御家族の要望をお聞きしたり、病院と情報交換をし、御本人が一番良いと思われる措置が取れるように連携している。	○	御本人・御家族の退院後の不安がないよう支援していきたい。
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	御家族の面会時や体調を崩した時など、御家族の気持ちなどお聞きしているが、繰り返し話し合いとまではいっていない。	○	健康な時から御家族・御本人の意向を聞いておくよう努めたい。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	体調を崩し重度化した時など、御本人や御家族より要望をお聞きし、医師とも話し合いその方にとって一番良いと思われる方針を決めている。但し医療行為が出来ないという点で病院の方に入院される方も多い。		
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	移り住む際、健康状態や本人の嫌いな事、注意点など情報交換し、ダメージを出来るだけ与えないようにはしている。		

事業所名：グループホーム 雀のお宿

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	言葉かけは、その時その状況に合わせるようにしているつもりだが、時として気を悪くしてしまったかなど反省する時もある。個人記録は職員共有の為、又健康状態把握の為記録している。	○	一人ひとりを大切にし、それぞれの対応をしていきたい。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	なるべくこうして下さいなどの職員の気持ちの言葉かけでなく、どうしたら良いと思う？などお年寄りの経験を聞いたり、頼ったりするようにしている。		
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事時間や入浴時間もその人の気持ちに添えるようにしているが、お膳立てはこちらでしたりする事も多い。	○	集団生活の中で一人ひとりのペースにはなかなか添えないが、より希望に添えるよう努めたい。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	季節ごとに、出来る方にはご家族や職員と一緒に衣替えを行っている。理美容については、店に行く方と車椅子の方などは、出張で来ていただいている。	○	日々身だしなみ等、御本人らしさを大切にしながら声かけ、見守っていきたい。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	こちらの献立で余り食べれない方には、違う物を出したりしている。食事作りの職員がいるが、下ごしらえや食材の買出しなど行っている。片付けは時々利用者もしてくれる。	○	小さい畑でとれるトマトやいんげん・なす・大葉など季節を感じながら収穫し、食材にしています。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	お酒は、晩酌を出している。たばこについては、禁煙を中北保健所に申請している。飲み物おやつについては、糖尿病などの関係もあり、ある程度ホームで管理している。		

事業所名：グループホーム 雀のお宿

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排尿については、定期的な誘導をする方や、本人で自由に行く方もいる。排便については、健康チェック表に記録されているので、便秘がちの方には医師と連携のもと下剤浣腸をしている。	○	個別におむつ類の使用を検討し、最小限有効である方法を考えている。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	大体午後入浴援助になっているが、その日の状況や本人の意思により、午前中や夕方になる時もある。	○	入浴を嫌う方の援助方法を検討していきたい。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人一人の生活パターンにより、早く眠る方も遅くまで起きている方もいる。季節により、寝具も調節している。又、休む前や日中、本人の興奮につながるような言動などしないよう注意している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	外出、外食、買い物、行事などで生活のメリハリや楽しみを作るようにしている。女性には縫い物や台所仕事など日常生活のこまごました事、又男性には力仕事、大工仕事などしていただいている。	○	掃除・洗濯たたみなどに役割感をもっている方も多く「ありがとう」の言葉を大切に援助したい。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	その方の力に応じ、本人がお金を持っている方も居る。ほとんどの方は、預り金としてホームで預かり、その中より支出している。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	職員の勤務体制、時間に依り、いつも本人の希望に添う事は出来ないが、なるべく本人の希望に依り外出もするようにしている。行事などで外出する事を多くするようにしている。	○	その日その日の対応を心がけていきたい。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	御家族と共に外出したり、職員とドライブに行ったりもする。結婚式や法事への参加も、ご家族が連れて行ってくれる方もいる。		

事業所名：グループホーム 雀のお宿

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙のやりとりをしている方もいる。電話については、あまり頻繁にして家族が困っている方もいるので、そういう方はこちらでセーブするようにしている。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時間は、設けていないので、どなたでも訪問は可。利用者のお部屋でお話しをしたり、談話室などで皆と一緒に話しをしたりしている。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員会議時に、身体拘束0の研修をしたり、資料をいつでも読める所に置いてある。拘束のない介護に取り組んでいる。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	不穏の状態を職員で共有し、注意を払うようにしている。外に出たい時は、職員が付き添ったりしながら、本人の気持ちに寄り添うようにはしているが、職員の気が付かない時に外に出て行ってしまい、捜した苦い経験もある。となり近所、近隣の施設、派出所にも協力依頼	○	不穏、職員体制に無理のない限り開放的な施設であるよう心がけている。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	共に仕事をしたり、本人の意思により自室に居たり、それぞれなので目くばりをするようにしている。	○	常に利用者の所在、心身の状態を念頭においていきたい。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	針、ハサミなど本人が自室で使用し、落ちていたり布団にささっていた事もあったので、本人と話しホームで預っている方もいる。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	歩行がおぼつかない方には寄り添い、誤嚥しないよう職員と一緒に食事し、目配り、気配りするようにしているが完全とは言えない。		

事業所名：グループホーム 雀のお宿

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	応急手当、初期対応の訓練もしてはいるが、定期的にはしていないので、とっさの時には全職員完璧には出来ないと思う。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	毎月定期的な訓練をしていないので、夜勤一人体制での避難誘導は大変と思う。運営推進会議での指導や近所の方への協力を得られるようお願いはしている。	○	地元の防災訓練へ参加していきたい。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	介護計画を通し、又その時々々の健康状態を家族に報告している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	職員の引き継ぎや連絡帳などにより、情報の共有をしている。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の内容が記載されている書類を名々綴っており、職員も目を通し、又引き継ぎなどでも共有している。医療機関とも連携しているので指示を仰ぐ。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘をしている方が多く、水分補給、野菜ジュース、ヨーグルトなど多く摂るようにはしている。又医療機関と連携し、下剤なども試みている。ラジオ体操、散歩、日常生活での体を動かすように心がけている。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	食後の歯磨きについて、自分で積極的にする方もいるが、ほとんどは声かけや手助けをしなければならない。全員出来ているとは言えない。	○	常に口腔の清潔の大切さを話しながら、自発的な口腔ケアを促していきたい。

事業所名：グループホーム 雀のお宿

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立は栄養士に立ててもらっている。その方の体力などにより、量は加減している。水分量は食事時、ティータイムのお茶、又入浴後夕食後のティータイムにより摂取している。	○	食事が少ない時は、記録をとったりしながら不足と思われる部分を補足できるよう努めている。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	インフルエンザの予防接種は、2回接種している。ノロウイルスなどの感染症は、マニュアルを作成し、職員間で研修したり読んでもらっている。調理前の手指消毒、利用者の食前の手指消毒、ペーパータオルの使用を実践している。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	地域の商店やスーパー、又生協などで食材を購入し、作った献立は2週間専用の冷蔵庫に保管してある。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	植木や草花などがあり、玄関まではスロープが設けられてある。門は開けてあるので、気軽に訪問出来ると思う。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用スペースは、居心地良く過ごせるようにしているつもりだが、入居者の好みの違いなどで時々トラブルが起きたりする。テーブル席のセッティングなども、それぞれ満足に行くにはむずかしい点がある。	○	食堂には職員が持ってきたり、お年寄りが庭からとってきた花を飾ったりしている。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	個室なので独りになりたい時、又は自分が参加したくない時は、自室に行って休んでいる。気の合った人と訪問したり、されたりしてお話されたりしている。	○	廊下や玄関に椅子を置いており、利用者それぞれにくつろいでいる。

事業所名：グループホーム 雀のお宿

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時、本人の使い慣れた物、お仏壇、位牌なども持参し、本人なりのしつらえをしている。寝具も布団を畳に敷く方、ベッドの方など好みや今までの生活習慣に合わせている。	○	ご本人の暮らしやすさを一番にしていきたい。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気扇は各部屋にあり、気になる臭いは換気扇を回したり、窓を開けたりしている。温度調節は季節により調節している。ただ職員とお年寄りの方の寒さの感じ方など違うと思うので、利用者の思いを大切にしたい。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	床はフラットになっている。歩行が皆すり足に近い状態なので、少しの段差でもつまずきやすい。スリッパも危険の一因だとも思う。	○	個々の状態に合わせたケアを心がけたい。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	共用スペースは、表示してある。入居者の認知度の違いもあり、又その時の状態もあるので、その方に安心していただけるよう配慮している。	○	個々のわかる力を大切に、混乱失敗の原因、援助方法を検討し、必要に応じた工夫をしていきたい。
87	○建物の外周や空間の活用 建物の外周やベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	敷地内に花を植えたり、畑を作り、水やりや肥料をまくなどして野菜の成長や収穫を楽しみ、又お花を愛でたりして季節を感じていただけるようにしている。		

事業所名: グループホーム 雀のお宿

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
		○	③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くない
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

雀のお宿の理念である、その人なりの生活に寄り添い、安心した尊厳ある暮らしをしていただけるよう支援を頑張っています。又年々お年を召されて体調を崩しやすいので、いつもと違うという気付きを大切にしています。